

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

冬の室内の植物

コロナになってから在宅の時間を充実させようと植物に目覚めて観葉植物や多肉植物などを育て始めた人もいます。今回は基本のアドバイスです。冬の室内は各家庭によって環境がとてつと違つるのでその植物の特性を知つた上で我が家のどこで育てるのか置き場所を工夫してください。冬は成長を楽しむよりも良い健康状態の維持を心がけます。置き場所として考えなければならぬ要素は日当たり、温度、湿度、風通しなどです。気温ですが一般的には多肉植物などは最低気温を5度、観葉植物は10度前後とおさえてください。もちろん種類によって違いはあります。日当たりも風通しも同じ。もし多肉植物などが徒長してきたら日当たりが悪くて暖かすぎです。ハダニなど病害虫が出たら対策をしてから風通しの良いところに置き場所を変えてください。又観葉植物のなかには乾燥を嫌い適度な葉水を喜ぶものもあります。明るい窓辺で良いだろうと思つていてもぼろぼろと葉を落としていたら水をやりすぎたり、乾かし過ぎてはいないかも考えてみましょう。蘭などの植木鉢にカビが生えて気になるようでしたら水洗いして除菌シートで拭き取れば綺麗になります。良い場所に置けたと思つたら日々の観察は大事ですが執着しすぎずそつと見守ってください。(きのした)

ムスカリ

ムスカリは、草丈が15cmくらいの球根植物で、春になるとブドウの実のような花を咲かせます。寒さに強く丈夫な植物なので日当たりと水はけの良い場所に植えれば、数年間植えっぱなしでも花を咲かせてくれます。最近では紫系の濃淡の他、ピンク、白など様々な色のものがあり、咲き方もユニークなものが続々と登場して春の庭の定番のムスカリですが少し見直しているところです。ムスカリという名は、ギリシャ語の「麝香(じゃこう)」のムスクに由来します。日本で流通しているムスカリ品種の中で、語源となったムスク系の芳香があるのは、マクロカルパ種の品種「ゴールドフレグランス」黄色い花のムスカリです。庭植えてよく見られる、青紫の花は、残念ながらムスクのような芳香はありません。秋にその球根を見つけ初めて植えてみました。どんな香りがするのか来春が楽しみです。(いとう)

今月の便り



大きくなり過ぎた

気がついたら想定以上に大きくなり、どうしてよいのかわからず途方に暮れる方。適当にブツ切りにしたため、翌年茫茫に伸びて收拾がつかなくなったり、地際からぼささり倒して処分する方など様々です。肝心なことは、
1) 庭の広さに見合った種類を選びましょう。サクラ、コブシやモクレンのうち生長の早い種類、想像以上に伸びるスモークツリー、ジュンベリー、つる性植物なども要注意。
2) 植えたときにどのくらいまで伸ばすのか計画を立てておきます。
3) 植える前に剪定の適期と樹種の間係をあらかじめ信頼のおける業者、知り合いの経験者に尋ねておくといいでしょう。
4) 長い間放置していた場合は一気に詰めず、数年数をかけて切り戻しながら、枝を間引く仕立て方が無難です。(かわはら)

*「今月の便り」次ページへつづく⇒

柿のお話

当地はカキ栽培の適地では有りませんが道南部では庭植えなどで栽培され、一説には千以上の品種があると言われていています。文学や歴史などにも登場する柿は晩秋から出回り、甘くポタポタする食感は秋の味覚ですね。木を植えることが出来なくても近年は、干し柿を楽しむと言う事で、我が家は親戚から渋柿が送られてきて、干し柿作りはYouTubeで勉強してチャレンジしました。3週間ほど手間暇かけて干し上げると、市販の物とは違う無添加の干し柿の出来上がり、外仕事も終わり日々の観察も楽しい時間です。多品種の柿は、去年は百目柿で大きくずっしりとして美味しい干し柿になりました。今年は、蜂屋柿と言って中位の大きさですが、甘さが抜群で、もう少しで完成です。保存はラップをして冷凍庫へ、食べる前日に自然解凍が望ましいです。北国に住む私達は、馴染みが少ない果樹ですが、正月にも食卓を飾る干し柿には、子供の頃から懐かしい思い出が蘇る食べ物です。一度干し柿作りチャレンジして見てください。(たかはし)

今年は

今年はコロナで始まりコロナで年の瀬を迎えましたが、家庭菜園や花壇の花は如何でしたか。今年は異常気象で私の「畑作記録」によると5月は多雨で気温が上がらず、6月は少雨で気温は平年より若干低め。7月は雨が6日しかなく、異常気象で夏日が7月中旬から12日連続し、8月に入っても夏日が6日続いた。7～8月の極端な少雨と異常気象は、屋外の植物は白らどうすることも出来ず、水切れやストレスにより枯れたり、萎縮したり、異常発生した害虫に傷めつけられる被害が多発した年でした。それにより、市場の花や野菜の異常高値が今も続いています。乾いているからと単に水をやればいいのかではなく、日差しを避けるため遮光ネットを掛ける、水やりは夕方遅く外気温が下がってから行う、地温上昇を避けるため、根元にワラを敷き直射日光を避ける対策をした方は、例年並みの収穫だったと思います。植物を育てると言うことは、植物の住みやすい「微生物がたくさんいる土」と植える植物にあった「肥料」「必要量の水」が最小限の必要事項ですが、その他に「害虫対策」「異常低温・高温対策」「日差し対策」低地では「水はけ対策」風当たりの強いところでは「防風対策」畑を荒らす「害獣対策」とすることは沢山あります。虫や気候、土地条件などが悪いからと切り捨てないで、いろいろ対策を考えながら育てることが大切です。来年は「トラ年」トラがにらみを利かせ、コロナを終息させることと思いますので、楽しい花壇や野菜作りを行いましょう。(ながやす)

野菜、葉・茎・根どこを食べているの(・・・?)

実を食べる：トマト、ピーマン、ナス、かぼちゃ、キュウリ、オクラ、トウキビ、豆類など

葉を食べる：キャベツ、レタス、白菜、ほうれん草、小松菜、ネギ、ニラ、パセリなど

茎を食べる：アスパラガス、竹の子など

地下の茎を食べる：ジャガイモ、サトイモ、レンコン、ショウガなど

根を食べる：サツマイモ、ニンジン、ゴボウなど

花を食べる：

ブロッコリー、カリフラワー、菜の花、ミョウガなど

サツマイモとジャガイモ、親戚みたいですが食べているところが違います

では、「大根」はどこを食べているのでしょうか(・・・?)

大根は、葉、茎、根に分かれます。勿論、葉も食べますが、葉の付け根部分チョット硬い部分がありますがこれが「茎」で、皆さんが食べているのは、上

部の茎の部分を除いて「根の部分」を「主根」と言って、ここを食べているのです。正確に言えば、この主根の淵にヒゲ根が付いていますが「側根」と言い、主根と側根を食べているということになります。

チョット
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太
(いわみざわ公園バラ園)



第八十八回

シュラブローズ

アルテミス

Arteims

作出国：ドイツ

作者：Tantau(Hans Jürgen Evers)

作出年：2009年

ハーディネスゾーン：不明

繰り返し咲き

交配：不明

これからの除雪を思うと憂鬱になる時期がやってきましたね。そして皆様、雪囲いお疲れさまでした。今年は雪が遅く割と気温も高めだったのでのんびりと雪囲いできたのではないのでしょうか。当園では葉むしりを含めると1か月半のロングランな雪囲いになります。スタッフたち頑張ってくれました。

雪といえば白！今回ご紹介するバラはドイツ作出の「アルテミス」です。半つる性のシュラブローズでショートクライマーなんて呼び方もされている系統のバラです。名前の由来はギリシャ神話に登場する狩猟と月の女神様から来ています。耳なじみのある名前ですよ。樹高は最大で150cm程度、幅は50cm程度になります。小さめのオベリスクやトレリスに誘引するのにちょうどいい高さですね。花色はクリーム白色で、花形はオールドローズの雰囲気があるカップ咲き、大きさは5cm前後の小中輪品種になります。葉っぱはダークグリーンの濃い色で白の花色とのコントラストがかっこいい！香りはアニスのようないい香りがします。耐寒性には特段優れていないものの耐暑性には優れています。また、病気に対しても強い耐性があり、黒星病や白バラに天敵の灰色かび病に対しても耐性が

あります。剪定は割りばし程度の太さで切っていけばいいのですが、小中輪なのでもう少し細めでも咲いてくれると思います。誘引は、クライマーなので緩く巻いてもしっかり花をつけてくれます。

ここまでつるバラとしてご紹介してはいますが、北海道では中々厳しいかもしれません。当園のアルテミス、冬越しが不安ということで春に地植え、秋に堀上ポットを2年ほど繰り返して大事にしていますが、現在の樹高は70cm程度になります。近年生育期の雨不足も手伝ってか中々枝を伸ばせていない状況です。つるバラとして使うならかなり長い目で見ることが必要かなと思います。

交雑を調べても残念ながら情報が見つかりませんでした。アニスの香りといえば、バラではミルラ香に分類されるのかなと思いますが、ミルラ香といえばイングリッシュローズに多いのでイングリッシュローズの血がもしかしたら入っているかもしれません。ただ、ティ系の香りと表記しているところもありましたので、その辺曖昧な部分もありますね。病気の強さから、最強の白バラなんて呼ばれてもいるアルテミス。評価とは裏腹に交雑がわからないミステリアスな部分もあるバラです。

クリスマス オカリナ コンサート

オカリナ

斉藤 がすみさん

12/12 日 14:00~

場所：
いわみざわ公園バラ園内
室内公園「色彩館」 大温室

入園料：
高校生以上 100円
小中学生 50円

定員：90名

※入園13:00～・先着順
※受付の際にコロナウイルス感染症拡大
防止のための参加者名簿のご記入・
ご提出をお願いしておりますので、
お早目のご到着をお勧めいたします。

その他
くわしくは
ホームページを
ご覧ください



今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！



●12月11日(土) 13:00~15:00 折り紙でバラをつくろう 初級
料金：無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ

●12月26日(日) 10:00~12:00 新春を迎える華やかアレンジメント
料金：3,000円(容器込み) 定員：18名
講師：秋元 千秋さん フラワーデザイナー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。
電話：0126-25-6111 ホームページ：<http://www.iwamizawa-park.com/>
※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3～4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方

× 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限や材料準備の関係から、連絡なしの欠席はお申込みをされたい他の方や講師の方へのご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。